第６次高浜市総合計画推進会議

中期基本計画の取組みから見えてきた課題と今後の取組みの方向性を点検・確認！

７月30日・８月21日に開催した「第６次高浜市総合計画推進会議」（第１回・２回）では、中期基本計画（平成26～29年度）に掲げた11の目標達成状況はどうだったか、４年間の取組内容や成果、課題と今後の取組みの方向性などについて、担当部署の職員から発表。発表内容を市民目線で「点検・確認」し、意見交換を行いました。

今回は、今後の行政の取組みの概要を紹介します。

▲総合計画推進会議のようす

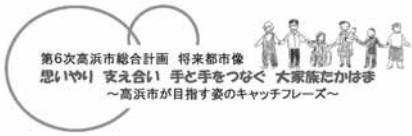
基本目標Ⅰ　みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標（1）　まちへの想いを育み、未来を切り開くチカラを高めます

今後も情報発信の積極的展開を行うとともに、新たな媒体の発掘や情報発信そのもののあり方を考えるなど、時代にあわせた発信方法を検討していく。

まちづくりにおいては、若い世代・定年を迎える世代に対して、地域活動の担い手として関わっていけるようなきっかけを創出する取組みを進める。

また、職員力アップとして「若手・中堅職員」の成長支援と「仕事」の効率化により職員力を高める政策を進める。



目標（2）　将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います

公共施設総合管理計画を着実に推進し、複合化のモデル事業を進め、単に総量圧縮というハード面だけを考えた計画ではなく、ソフト面においても果たす役割が大きいことを広く理解してもらえるよう情報発信を進める。

公共施設総合管理計画の推進や今後増加する財政需要に対応するため、高浜市の身の丈にあった健全な財政運営への取組みを強化していく。

基本目標Ⅱ　学び合い　力を合わせて　豊かな未来を育もう

目標(3)　人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます

まちづくりの原動力となる「高浜市が好き」という愛着・誇りの想いを高めていくため、まちの魅力・自慢を知る機会を創出し、好奇心や意欲を喚起した動きを広げる。また、学んだり体験したことを「教える」「発表する」「活動する」など、「自分のための学び」にとどまることなく学んだ成果を社会に還元できる取組みを進める。

目標(4)　学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます

教職員などの異校種参観で互いの教育観を学び、授業力を高めることや、幼・保、小、中の教員同士で子どもの支援情報の引き継ぎを行うことで、子どもの健やかな12年間の学びを進める。

また、時代の変化に合わせて、ＩＣＴを活用した授業や高浜版プログラミング教育を実践するなど、優れた授業実践案や単元構想などを集約する。

目標(5)　地域ぐるみで子育ち・子育てを支えます

今後も「高浜市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、多様で柔軟な保育サービスの提供など、子育てニーズを適切なサービスに結びつける取組みを進め、待機児童ゼロをめざす。

また、身近な場所での子育て支援、子どもの居場所づくりがされるよう、人材育成を進める。